

「キリストに代わって」



全日本リバイバルミッション代表
リバイバル聖書神学校名誉校長
アジアンアクセス理事長

有賀喜一

「こういうわけで、私たちは、主を恐れることを知っている」

「というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでいるからです」

「こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。ちょうど神が私たちを通して懇願しておられるようです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。」(Ⅱコリント5：11、14、20)

ダマスコ途上、突然キリストに出会い、キリストを救い主、人生の主と迎えた使徒パウロは、全生涯を貫いて有終の美を飾りました。彼のその生涯の秘訣は三つあります。

「主を恐れる」

先ず第一に、「主を恐れる」という神学の分野からくるキリスト中心の心です。裁きも愛も救いもこの神から来ます。その真ん中にキリストの十字架が立っています。このキリストを十分知ったのです。

「キリストの愛に取り囲まれる」

第二の秘訣は、「キリストの愛に取り囲まれる」という体験の分野からくるキリストに満ちた心です。サマリヤの女は来て見なさいと言ひ、目の不

自由だった人は、今、見えると言ひ、アンデレは、シモンに、メシヤに会ったと言ひ切りました。体験がものをいうのです。キリストに満ち満ちて溢れずにはいられないと言うのです。

「キリストに代わって」

パウロが生涯をかけて有終の美を飾れたのは、「キリストの使節」という服従の分野からくるキリストに従う心です。大使は自分の国を代表し別な国で生きます。母国の栄光は使節の手中にあります。キリストは天の栄光を捨て、この地に来られ、誕生、生涯、十字架、復活、昇天、即位され、今や全世界の支配者として、更に全世界、全宇宙を完成し、新天新地を再創造されます。それは間もなくです！

特にこの終末の時、初めにエデンの園で受けた、神からの二重の使命：①生めよ、ふやせよという霊的使命、②地を治めよという管理使命を今こそ私たちがキリストに代わって実行に移す時です。私たちは神無くして、何も出来ません。神も私たち無くして、何もしようとはなさいません！

「主を恐れ」、「キリストの愛に取り囲まれ」、「キリストの使節」となり、キリストの代わりとして、二つの使命をしっかりと果たしましょう！

TPCの活動目的

- (1)閉塞感のある日本のキリスト教会に元気を与える
- (2)超教派として活動する
- (3)毎日、礼拝を捧げ、祈り会を行う
- (4)伝道、学びなどのために貸室を提供する